

NPO法人 くまもと福祉ネットワーク
令和元年度 障害福祉サービス 施設評価基準項目

自己評価票

- ① 各設問の該当項目に 印を付けます。その他に事業所独自で行なっている取り組みや工夫している点があれば、自由記述欄に記入します。
- ② 評価は、次の4段階です。 7~5点 ⇒ A 4~3点 ⇒ B 2点 ⇒ C 1以下点 ⇒ D
- ③ 各設問で用いている用語の説明や、設問の主旨を理解いただき、自己評価に臨んでください。
- ④ 次の用語については、特に記載のない限り、次のようにご理解ください。
 - マニュアル……体裁や記載内容の濃淡を問わず、設問の内容に関する内容の記載があるものをさします。
 - 手順……体裁の有無を問わず、設問の内容に関する内容についてルール化されているものをさします。
 - 職員……設問の内容に関わる業務を行う職種の職員をいい、常勤・非常勤の両方を含みます。
 - 研修……職場外で受講する研修、職場内で行う研修（集合型、個別型）の両方をさします。
 - 取り組み……事業として取り上げて取り組んでいない場合でも、そのような状況があり、ルール化されている場合も含みます。

(施設名： らしっく)

1 事業所運営体制の基本

(1)安心・安全・快適

No.	小項目	設問	自己評価	判断した理由など
1	快適性への配慮	<p>事業所は、利用者にとって快適な場所となっていますか。</p> <ul style="list-style-type: none"> <input checked="" type="checkbox"/> ① 事業所の中は、車椅子や杖歩行者等も移動しやすく、安全に配慮された構造となっている <input checked="" type="checkbox"/> ② 室温・湿度、採光、換気、音は、常に調整された環境となっている <input checked="" type="checkbox"/> ③ 事業所内は、清掃が行われ、清潔が保たれている <input type="checkbox"/> ④ 出入り口、居室、食堂、集会室、活動スペースは適度な広さである <input checked="" type="checkbox"/> ⑤ 事業所は、季節感を感じさせる飾り付けがあったり、利用者の作品が大事に扱われている <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 	A	<p>居室は活動スペースと学習室と部屋数は少ないがメリットとして死角となる部分は少ないため、子どもたちの様子のある程度見渡すことが可能である。必要に応じて、学習室など個別対応できる空間としている。</p> <p>飾り付けについては、職員またはプログラムとして子どもたちと一緒に製作を行い、毎月壁紙を作成して貼りだしている。子どもの作品に関しても許可をとり、掲示させていただいている。</p> <p>壁紙以外にも子どもたちが作った作品など(学校で作ったものも含め)飾らせていただいている。</p>

No.	小項目	設問	自己評価	判断した理由など
2	設備の清掃・衛生管理①	<p>調理場、水周りなどの清掃や衛生管理は、適切に行われていますか。</p> <ul style="list-style-type: none"> <input checked="" type="checkbox"/> ① 清掃、衛生に関して担当者を決めている <input checked="" type="checkbox"/> ② 調理場、水周りは、定期的に清掃が行われるとともに、汚れたらその都度、清掃が行われている <input type="checkbox"/> ③ 調理場、水周りの設備・器具類は、定期的に点検が行われている <input type="checkbox"/> ④ 調理員は、規定どおりに検便を行っている <input type="checkbox"/> ⑤ 事業所内の清掃、設備の点検、衛生管理等の実施記録があり、適切に保管されている <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 	C	<p>調理員等は配置していない。定期的にキッチン、水周りなど清掃は行なっている。</p>

No.	小項目	設問	自己評価	判断した理由など
3	設備の清掃・衛生管理②	<p>トイレや手洗い場などの清掃や衛生管理は、適切に行われていますか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ■ ① 清掃，衛生に関して担当者を決めている ■ ② ポータブルトイレの位置やトイレ入り口のカーテン設置など，プライバシーに配慮した造りとなっている ■ ③ トイレは，車椅子利用の場合や支援者が支援する場合などを考慮し，十分な広さがあり，室内の明るさ，室温も適切である ■ ④ 臭気を取り除くための配慮をしている ■ ⑤ タオルは共同使用とせず，ペーパータオルや温風乾燥機を設置している <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 	A	<p>トイレの清掃・換気は毎日行なっている。トイレは車椅子でも十分なスペースを確保できている。</p>

No.	小項目	設問	自己評価	判断した理由など
4	危機管理①	<p>風水害や地震等の災害が発生した場合，速やかに対応できる体制が整っていますか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ■ ① 防災対応マニュアルがあり，定期的に見直しを行っている ■ ② 災害発生時の外部連絡方法が確立しており，職員・関係者に周知されている ■ ③ 災害を想定した避難訓練を計画的に実施している <input type="checkbox"/> ④ 災害発生に備え，地域からの応援体制を築いている <input type="checkbox"/> ⑤ 災害発生に備え，必要物品の備蓄を行っている <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 	B	<p>マニュアルを作成し、外部通報、避難訓練等定期的に行なっている。保護者の方へも避難訓練実施後等に報告を行なっていくようにする。</p>

No.	小項目	設問	自己評価	判断した理由など
5	危機管理 ②	<p>食中毒や感染症に対する予防及び発症後の対策は、適切に行われていますか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ■ ① 食中毒・感染症（予防・対応）に関するマニュアルがあり、定期的に見直しを行っている ■ ② 食中毒、感染症が発生した場合に、関係機関に連絡する体制があり、その方法が職員に周知されている ■ ③ 食中毒・感染症について、職員研修を実施している ■ ④ 食中毒・感染症について、利用者に必要な情報を分かりやすく説明し、必要な対応ができるよう支援している <input type="checkbox"/> ⑤ 食中毒・感染症について、家族等に必要な情報を分かりやすく説明し、必要に応じて協力を求めている <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 	A	<p>子どもたちへの手洗い、うがい、消毒等の指導は行なっている。食中毒・感染症についての研修に参加したり、法人内においても職員間で周知できるように勉強会を行なっている。</p> <p>感染症等においては、拡大を防ぐ為、例えば嘔吐物の処理の仕方など視覚化して掲示物として貼りだしている。</p> <p>コロナウイルスの件もあり、接触が多い箇所に関して消毒液にて適宜にふき取りを行い、感染拡大防止に努めている。</p>

No.	小項目	設問	自己評価	判断した理由など
6	危機管理 ③	<p>不審者の侵入などに対応できる体制がありますか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ■ ① 不審者等の侵入防止策(出入口の施錠、通報システム等)が講じられている ■ ② 不審者の侵入時における対応マニュアル(施設内、施設外)が整備されている ■ ③ 不審者対応マニュアルは、職員に周知されている <input type="checkbox"/> ④ 不審者の情報が、関係機関や近隣住民等から得られるネットワークがある ■ ⑤ 警察や警備会社等との連携のもとで、マニュアルに基づく職員研修が行われている <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 	B	<p>各関係機関との連携は必要に応じてできている。</p> <p>監視カメラの設置もあり。</p>

No.	小項目	設問	自己評価	判断した理由など
7	食材管理・調理方法等	<p>食材管理や調理方法等について、食の安全を確保できる体制がありますか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ■ ① 食材は、安全で良質なものを入手するよう心がけている ■ ② 調理は、適切な温度で行い、揚げ物等は中心温度の測定を行っている ■ ③ 食事は、適温提供を心がけている ■ ④ 水質検査は、設備・用途に応じて決められた期間内に実施している <input type="checkbox"/> ⑤ 原材料・提供した食事の両方を既定の温度で2週間保存している <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 	A	<p>調理実習活動を通して、基本的な調理指導、食べ物の大切さ等食育も心がけている。また各職員へも管理者より適正管理の通知を出している。</p> <p>調理実習に関しては、取り組む際の留意事項を掲示物として貼り出し、共通認識をもって取り組めるようにしている。</p>

(2)個別支援計画にもとづく支援の仕組み

No.	小項目	設問	自己評価	判断した理由など
8	アセスメントの仕組み	<p>利用者の障害の状況や生活状況について、定められた手順でアセスメントを行っていますか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ■ ① 個別支援計画策定に関して、統一した様式が整備されている ■ ② 個別支援計画策定の際のアセスメント手順が定められている ■ ③ アセスメントによって発見された課題が明確になっている ■ ④ 支援目標は、アセスメントから導かれたものになっている ■ ⑤ 個別支援計画策定の経過は、定められた様式に記録され、適切に保管されている <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 	A	<p>アセスメントの項目に沿って、特性、生活状況、対人面など手順に従い、行なっている。保護者からの意見をできるだけ吸い上げ、支援目標を定めるようにしている。アセスメントは、個別ファイルにて保管管理し適切に扱っている。</p> <p>モニタリング時期に限らず、必要に応じて保護者とは連絡を取り合い、話しを行っている。</p>

No.	小項目	設問	自己評価	判断した理由など
9	計画の実施・評価・見直し	<p>個別支援計画の策定・評価・見直しは適切に行われていますか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ■ ① 計画の見直し期間を定め、定期的な見直しを行っている ■ ② 利用者の状況が変化した場合は、見直し時期でなくても随時見直しを行っている ■ ③ 計画の見直しの際には、支援目標等に対する評価を行っている ■ ④ 計画変更の手順を定め、計画変更の必要が生じた場合には、その手順に従って計画を変更している ■ ⑤ 見直し・評価・変更の内容は、統一した様式に記録され、適切に保管されている <p><input type="checkbox"/></p> <p><input type="checkbox"/></p>	A	<p>保護者とのモニタリングを定期的に行っている。以前の計画での課題、目標の評価を行い、現在の課題、目標のすり合わせを行ないながら手順に沿って計画を立てている。</p> <p>基本6ヶ月を目安に計画の見直しを行っているが、子どものそのときの現状、状態によって見直しが必要と判断した場合は、その都度計画の書き換えを行なうように心がけている。</p>

No.	小項目	設問	自己評価	判断した理由など
10	本人の自己決定・家族の参加	<p>個別支援計画は、利用者・家族・関係機関の意向や意見を取り入れたものとなっていますか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ■ ① 個別支援計画は、利用者の日頃の様子を観察したり、直接、意見を聞く機会を設け、その内容を反映させて策定している ■ ② 個別支援計画は、家族等の意見を聞く機会を設け、その内容を反映させて策定している ■ ③ 必要に応じて、専門機関の意見を聞く機会を設け、その内容を反映させた個別支援計画を策定している ■ ④ 関係機関との連携が必要な場合は、連携方法・内容を確認し、その内容を個別支援計画に盛り込んでいる ■ ⑤ 個別支援計画は、利用者、家族等、専門機関、関係機関の意向や連携方法が整合性を持つように調整して策定している <p><input type="checkbox"/></p> <p><input type="checkbox"/></p>	A	<p>相談支援事業所のサービス利用計画書、専門家の意見など柔軟に取り入れながら個別支援計画も作成していくように心がけている。一つの視点にこだわりすぎずに色々な目線で子どもたちに関わりたいと思っている。一番は保護者・子どもの意向、意見を尊重できるようにし、そこかららしくでできることは何か、ツールを模索していき、計画を立てるように努めている。</p>

No.	小項目	設問	自己評価	判断した理由など
11	サービス開始・終了時の配慮	<p>サービスの開始及び終了の際に、利用者・家族の環境変化に対応できるよう支援していますか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ■ ① サービス利用開始当初は、利用者の状態を観察する期間を設け、提供サービスの適切さを確認している ■ ② サービスの開始および終了の際、家族等からの相談があった場合は、速やかに対応し、不安軽減に努めている ■ ③ サービス終了時には、関係者会議を開き、今後の支援方針を確認している ■ ④ サービス終了にあたり、引継ぎのために利用者情報を提供する必要がある場合は、利用者の同意を得てから行っている ■ ⑤ サービス終了までの経過は、統一した様式に記録し、適切に保管している <p><input type="checkbox"/></p> <p><input type="checkbox"/></p>	A	<p>個人情報等については、開始前、終了後も適切管理し、また提供できる部分は各関係機関と連携して支援を行っている。利用児・家族のペースも大事にしながら関わっていくように努めている。サービス開始前には事業所での取り組みや特色を説明し、見学等の一つではなく、いろいろな事業所を見ながら検討されたほうがよいことを勧めている。子どもたちにも事業所の相性、イメージは必ず存在している為、一番は子どもにとって行きたいと思える場所を見つけられるように努めている。サービス開始後は、常に子どもたちの現状、状態は把握できるようにしながら、なるべくその子どもにとっての一番よい形になるように手段を模索し、適切なサポート、アドバイスができるように努めている。</p>

(3)利用者の人権の尊重

No.	小項目	設問	自己評価	判断した理由など
12	利用者の尊重①	<p>職員は、利用者の障害状況や自立支援の観点を総合的に捉えて、利用者を尊重した支援を行っていますか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ■ ① 意思伝達に制限のある人の場合、その人の意思や希望をできるだけ正しく理解できるように努力している ■ ② 利用者の主体的な活動については、利用者の意向を尊重している ■ ③ 利用者の主体的な活動を支援する際には、その発展を促すよう側面的な支援を行っている ■ ④ サービス提供や利用者の活動支援は、支援の方法や方向性について利用者と合意したうえで行っている <p><input type="checkbox"/> ⑤ 利用者による自治会等が設置されている場合は、必要に応じて協議の場を設けるなどの協力を行っている</p> <p><input type="checkbox"/></p> <p><input type="checkbox"/></p>	A	<p>意思伝達に制限のある方へは、フィンガーボードやコミュニケーションアプリなどコミュニケーションツールを模索し、意思伝達に努めている。また月に1度「子ども会議」を開催し、次の月に行きたい場所、やってみたいことを挙げてもらい、行事に反映させている。</p> <p>子どもたちの特性、得意、不得意等は考慮しつつ、できないからやらないではなく、挑戦することの意味を大事にし、ちょっとしたことでも成功体験に繋げるべく、支援を行っている。</p>

No.	小項目	設問	自己評価	判断した理由など
13	利用者の尊重②	<p>利用者の人権を尊重する具体的な取り組みを行っていますか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ■ ① 法人理念や基本方針、支援方針の中で、利用者の権利を明らかにしている ■ ② 利用者の権利は、利用者に分かりやすい内容で作られ、一人ひとりに周知されている ■ ③ 職員は、会議や研修で、利用者の権利が護られるような仕組みを築いている ■ ④ 職員は、利用者を子ども扱いしたり、必要以上に支援するなど、自立(自律)を妨げないよう心がけている ■ ⑤ 利用者の人権を尊重する姿勢を維持するために、職員同士が気づきを教えあう環境づくりに努めている <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 	A	<p>利用開始前の重要事項説明書にて説明を行っている。また理念を掲示している。また虐待についても職員間で共有して周知できるように勉強会などを行なっている。</p>

No.	小項目	設問	自己評価	判断した理由など
14	プライバシーの保護	<p>職員は、利用者のプライバシー保護について配慮していますか。</p> <ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/> ① 職員研修を実施し、プライバシー保護の必要性について、職員全員が理解している ■ ② マニュアル（介助、入浴、食事、接遇）には、利用者のプライバシー保護に関する記載があり、職員に周知徹底されている ■ ③ 入浴、排泄、着替え等の介助場面で、利用者の尊厳を守るようにしている ■ ④ 事業所の内外で利用者に関する話をする際、利用者のプライバシー保護に配慮している ■ ⑤ 利用者への対応の適切さについて、職員同士で確認しあう仕組みがある <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 	A	<p>プライバシーについての研修を行っていないが、更衣等については自立している為、本人より要請があった場合のみ支援するようにしている。支援する場合は、同性での支援を守っている。定期的に子どもたちへの対応の仕方は会議などで話し合いを行い、最善の対応ができるように努めている。</p>

No.	小項目	設問	自己評価	判断した理由など
15	一人ひとりの状態に応じた配慮、サービス提供	<p>サービス提供内容や活動は、利用者の身体状況や障害状況に応じて、個別に配慮されていますか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ■ ① 個別支援計画は、利用者一人ひとりの状況に応じた内容で策定されている ■ ② 作業やレクリエーションの種類を複数設定し、利用者の身体状況や障害状態に応じて、参加しやすく工夫している ■ ③ 利用者が自力で行う行為に職員が介入する判断基準等については、あらかじめ利用者（場合によっては家族）と十分話し合っている ■ ④ 利用者が自力で行う行為により、生活と活動の範囲が広がるよう、職員の対応や施設設備は常に検討されている ■ ⑤ 利用者自身が判断したり考えるための情報や資料の提供を行っている ■ ⑥ 集団生活への適応、日常生活動作等について、具体的に到達すべき目標を定めている <input type="checkbox"/> ⑦ 児童が自ら対応できる動作、行動等については、緊急時の対応ができる範囲で声掛けや見守りの支援を優先するよう計画に定め、それに基づき支援をしている。 	A	<p>本人のその時の状況、または能力に応じてプログラム、内容、課題は臨機応変に対応している。ただし、場合によっては、あえてこちら側が提示したプログラムに参加してもらうことはあり、メリハリをつけた支援を心がけている。個別での対応はもちろんであるが、集団での取り組みも重視して支援を行っている。</p> <p>平日のプログラムにおいても一つではなく、2種類以上は準備し、対応できるようにしている。またその日の体調などにも考慮しながら、判断できるように心がけている。なるべく個人の感情やわがままにはならないように特性等考えながら線引きはきちんと行なえるように職員間でも共通した認識をもって対応できるように努めている。</p>

(4)人材養成

No.	小項目	設問	自己評価	判断した理由など
16	事業所への協力者の養成	<p>ボランティアや地域住民に事業所を理解してもらい、応援してもらえる体制を整えていますか。</p> <ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/> ① ボランティアの受け入れにあたっては、依頼内容を明確にしたうえで、活動の場を提供している <input type="checkbox"/> ② 協力者の養成は、地域啓蒙の視点をもって行われている ■ ③ 事業所への理解を深め、協力が得られる体制を築いている <input type="checkbox"/> ④ 行事を行う際には、地域住民にも参加してもらうなど、事業所の取り組みを理解してもらう機会をつくっている ■ ⑤ 事業所も地域住民として自治会活動に参加している <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 	C	<p>定期的に地域のごみ拾いを行ったり、地域の方たちとも触れ合う機会を設けながら少しでも事業所の存在、取り組みを知ってもらえるように努めている。</p>

(5)情報提供の体制

No.	小項目	設問	自己評価	判断した理由など
17	適切な契約	<p>サービス利用で契約が必要な場合は、適切に契約を行っていますか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ■ ① 重要事項説明書や契約書は、書面にして利用者または家族等に渡している ■ ② 契約を交わす際には、利用者本人の意思を十分確認し、できる限りサービスを強要しないようにしている ■ ③ 契約を交わしたり、サービス内容を説明する際には、利用者本人にも分かりやすい説明となるようにしている ■ ④ 利用者本人との契約が困難と判断した場合はかけはし(福祉サービス利用援助事業)や年後見制度の利用を勧めている ■ ⑤ 契約は、利用者からも解除できることを説明するとともに、契約終了後の生活に配慮したうえでの終了となるようにしている <p><input type="checkbox"/></p> <p><input type="checkbox"/></p>	A	<p>重要事項にて説明し、適切に契約を行っている。</p> <p>利用希望の見学の際などには、子どもにとっての最善の場所を見つけられるようにニーズに応じて他の事業所も紹介したり、必ず複数の事業所を確認した上で、選んでいただくように対応させてもらっている。</p>

2. 事業所におけるサービスの提供

(1)情報の共有化

No.	小項目	設問	自己評価	判断した理由など
18	支援方針に対する共通理解	<p>職員は、事業所で統一された方針に基づいて具体的な支援を行っていますか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ■ ① 利用者への支援は、法人の理念や事業所の基本方針を反映した内容で計画されている ■ ② 利用者一人ひとりへの支援方針は、職員全員が共有している ■ ③ 利用者一人ひとりへの支援についての評価は、複数の職員が関わって実施している ■ ④ 援助技術や知識を習得するため、外部研修または内部研修の機会を設けている ■ ⑤ 必要に応じて、専門家から支援方法についての助言を得ている <p><input type="checkbox"/></p> <p><input type="checkbox"/></p>	A	<p>支援計画を立てるときには、職員間で会議を行い、各意見も反映させて、計画を見ただけで対象となる子どもが誰であるかわかるように具体的に計画を作っている。立てた計画は、共有できるように職員全員に管理者が確認表にて確認をしてサインをもらっている。またその都度、必要に応じて適宜に支援に対する話し合いは行うようにしている。</p>

No.	小項目	設問	自己評価	判断した理由など
19	個人情報(データを含む)の取り扱い	<p>利用者に関する情報の収集および管理は、適切に行われていますか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ■ ① 利用者に関する情報を記録するための各種様式を作成している ■ ② 保管場所・保管方法を統一して定めるなど、情報の漏洩、放置、流出を防ぐ手立てを講じている ■ ③ 記録の記載方法等に関する研修を事業所内で定期的実施し、職員に周知徹底している ■ ④ 職員が作成する記録を定期的に確認する仕組みがある ■ ⑤ 利用者に関する情報は、個別かつ一元的に管理されており、必要な時にすぐに見られるようになっている <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 	A	<p>個人情報は、鍵付キャビネットにて保管している。 法人内の研修にて記録の書き方などについては学ぶ機会を作るようにしている。</p>

(2)職員の育成

No.	小項目	設問	自己評価	判断した理由など
20	ミーティングの開催	<p>職員間において、定期的または随時に情報共有する体制がありますか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ■ ① 定期的に、職員会議等を開き、情報共有する機会がある ■ ② 職員会議等の内容は、会議録として作成している ■ ③ 職員会議等に欠席した職員へも、できる限り速やかに会議の内容が伝わるような仕組みがある ■ ④ 利用者に関わる内容が話された場合、記録作成で利用者のプライバシーに配慮している ■ ⑤ 外部の機関等に情報提供する必要がある場合の手順が定められており、必要に応じて実施されている <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 	A	<p>月に1度、前月の利用状況、相談状況、今後のスケジュール行事等、支援内容を協議して、会議録を作成している。</p>

No.	小項目	設問	自己評価	判断した理由など
21	カンファレンスの開催	<p>利用者支援を行う中で、定期的または必要に応じてカンファレンス(ケース会議)を開催していますか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ■ ① 定期的または必要に応じて、カンファレンス(ケース会議)を実施している ■ ② カンファレンス(ケース会議)では、必要に応じて専門家の助言を受けている ■ ③ 必要に応じて、施設外の関係機関の参加を得ている <input type="checkbox"/> ④ カンファレンス(ケース会議)には、できる限り利用者本人の参加を得ている ■ ⑤ カンファレンス(ケース会議)の内容は、適切に記録・保管している <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 	A	定期的にケース会議を行っている。必要に応じて施設外の関係機関、学校、相談事業所など協力を得ている。

No.	小項目	設問	自己評価	判断した理由など
22	スーパービジョンの実施体制	<p>必要な場面で指導助言(スーパービジョン)を受けられる仕組みがありますか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ■ ① 施設内に指導助言を受ける仕組みがある ■ ② 事業所は、職員が抱えている課題に対して、法人の理念や方針に基づいた指導助言を行っている ■ ③ 施設長(管理者)は、指導助言を求めてきた職員の経過を把握している <input type="checkbox"/> ④ 必要に応じて、専門職の指導助言を受けられる仕組みを築いている ■ ⑤ 指導助言の中で得られた解決策は、日々の支援に活かされている <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 	B	子どもたちの支援については、その日にあった出来事を中心に振り返りを行なっている。振り返りの中で出た課題や解決策は、職員の中で共有し、次回の支援に活かせるように各々が意識して支援にあたっている。職員会議の中でも支援内容については常に話し合いを行い、改善できるように努めている。

(3)適切なサービスの提供

No.	小項目	設問	自己評価	判断した理由など
23	エンパワメントを引き出す支援	<p>職員は、エンパワメントの理念に基づいた支援を行っていますか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ■ ① 職員は、利用者が本来持っている能力を発揮できたり、希望が実現できるような支援をしている ■ ② 個別支援計画は、利用者のエンパワメントの理念を踏まえたものになっている ■ ③ 社会生活力を高めるために、障害の理解や調理、洗濯、買い物、交通機関の利用等について学習するプログラムを用意している ■ ④ 施設外の社会資源について、利用者に情報提供し、利用や体験の機会を設けている ■ ⑤ 利用者が人権意識を高められるよう、分かりやすく情報提供している <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 	A	<p>子どものときにしか経験できないワクワクをたくさん感じてもらうため、体験活動を多く取り入れている。外での活動を通して、社会的なマナーはもちろん、遊びを通して子どもたちの中での経験値として自信に繋がるように支援を行っている。また施設内でのプログラムにおいてもちょっとしたことを成功体験として子どもたちの成長、自信に繋げていけるように関わっていかことを意識している。</p>

No.	小項目	設問	自己評価	判断した理由など
24	利用者の意思の確認	<p>意思表示が困難な利用者に対して、できる限り利用者本人の意思に沿った選択や活動となるように支援していますか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ■ ① 意思表示が困難な利用者もできる限り意向に沿った選択ができるよう支援している ■ ② 意向に沿った選択ができるようにするため、利用者の生活歴、好きなことなどを把握するよう努めている ■ ③ 利用者の希望を引き出す支援方法について、職員間で話し合ったり、事例検討などの研修を実施している ■ ④ 利用者が意思表示しやすいよう、活動内容や選択肢を複数用意し、提示している ■ ⑤ 選択が利用者の意向に沿ったものとなっているか、定期的に評価している <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 	B	<p>少しでも意思表示ができるように絵カード、フィンガーボード、意思伝達アプリ等その子どもに合ったコミュニケーションツールを模索している。</p> <p>月に一度、プログラムの中で子ども会議を開催し、活動内容等意見を出し合ってもらっている。言葉で表現が難しい子どもたちに対してもジェスチャーや指差し、いくつかの候補先から選択してもらったり、できる限り要望を汲み取っていけるようにサポートしている。ただその子の想いを100%汲み取れるかというところではない為、まだまだ課題として残るところである。</p>

No.	小項目	設問	自己評価	判断した理由など
25	健康状態の把握	<p>利用者の健康状態や障害の状況等を的確に把握し、異常を感じた場合は、速やかに適切な対応を取っていますか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ■ ① 健康管理マニュアル、健康管理票がある ■ ② 職員は、障害、疾病、口腔ケアなどについて知識を得る機会がある ■ ③ 職員は、障害、疾病、口腔ケアなどの情報を利用者に提供し、必要に応じて利用者が医療機関に相談できるよう支援している <input type="checkbox"/> ④ 必要に応じて、医師や看護師と連携し、利用者が健康を保つための支援をしている ■ ⑤ 日々の健康状態や応急処置を行った場合など、その内容を適切に記録している <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 	B	<p>障害については研修などにおいて学ぶ機会があるが、疾病、口腔ケアなどの医療は現在機会がない。 事業所では、利用開始時に検温を行っている。またかかりつけ医療機関へ速やかに連携できるように設定し、緊急連絡先の作成を行なっている。</p>

No.	小項目	設問	自己評価	判断した理由など
26	喫食環境	<p>利用者が食事を楽しむことができるような配慮や工夫を行っていますか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ■ ① 献立は、季節の旬のものを使ったり、地元の食材を使ったり、季節行事に関係した献立としている。 ■ ② 食事支援が必要な利用者には、食べることを急がせたりせず、一度に口に入れる量を加減するなどの工夫をしている <input type="checkbox"/> ③ 食事支援マニュアルがある <input type="checkbox"/> ④ アレルギー除去食やきざみ食など、利用者の身体状況に応じた食事を提供するとともに、利用者の日々の体調に応じて食事形態を変えている ■ ⑤ 嗜好調査、残菜調査などを定期的に行い、利用者の食事の好みを把握し、サービス提供に反映させている <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 	A	<p>食事支援が必要な子どもはいないが、食事のマナー、食べ方、箸の使い方などその都度サポート行っている。活動の中におやつ作りなども取り入れながら、季節にちなんだメニュー、材料もその時に合わせて行うようにしている。</p>

No.	小項目	設問	自己評価	判断した理由など
27	入浴支援	<p>入浴支援は、利用者の身体状況や障害状況に応じて、適切に行われていますか。</p> <p>■ ① 入浴は、個別援助計画に基づいて、サービス提供している</p> <p><input type="checkbox"/> ② 安全やプライバシーの保護を含めて、入浴支援や助言方法について、マニュアルがある</p> <p>■ ③ 決められた入浴日以外でも、汗をかいたり、失禁等で汚れた場合には、入浴またはシャワー浴ができる</p> <p><input type="checkbox"/> ④ 入浴時間、入浴の順番等は、利用者と話し合っている</p> <p>■ ⑤ 浴室や脱衣場は、プライバシーを保護する構造、設備上の工夫や保護する環境を確保するための工夫を行っている</p> <p><input type="checkbox"/></p> <p><input type="checkbox"/></p>	A	<p>脱衣所、シャワー室を完備。入浴支援が必要な子どもは少ないため、シャワー室を利用することもほとんどあっていない。必要に応じて(夏場の汗を掻く時期、粗相等)利用している。</p>

No.	小項目	設問	自己評価	判断した理由など
28	排泄支援	<p>排泄支援は、利用者の身体状況や障害状況に応じて、適切に行われていますか。</p> <p><input type="checkbox"/> ① 排泄支援は、個別支援計画に基づいて行っている</p> <p><input type="checkbox"/> ② 利用者の羞恥心や自立支援に配慮した排泄支援マニュアルがある</p> <p>■ ③ 失禁等で汚れた場合には、清拭またはシャワー等での使用と着替えにより身体の保清が保たれている</p> <p>■ ④ 排泄用具（おむつ、移動式便器、集尿器、採尿器、ストマ用具等）の使用について、衛生や防臭に配慮している</p> <p>■ ⑤ 基本的には、同性による排泄支援を行うようにしている</p> <p><input type="checkbox"/></p> <p><input type="checkbox"/></p>	A	<p>排泄に関して、日中は自立されているため、特に支援が必要な子どもは少ない。まれにトイレを失敗したとき、または本人からの要請があった場合には、同性による支援を行っている。汚れた衣服は場合によっては洗濯してお返している。着替えの準備などをしていただくようお願いしている。</p>

No.	小項目	設問	自己評価	判断した理由など
29	整容支援	<p>利用者の身体状況や障害状況に応じて、身だしなみを整えるよう支援していますか。</p> <p>■ ① 着替えは、利用者が自力でできる範囲を把握し、必要な支援をしている</p> <p>■ ② 洗面・歯磨き・手洗いは、利用者が自力でできる範囲を把握し、必要な支援をしている</p> <p>■ ③ 整髪・髭剃りは、利用者が自力でできる範囲を把握し、必要な支援をしている</p> <p>■ ④ 衣服の汚れに気がついた場合は、着替えを促したり、必要に応じて衣服の調整を支援している</p> <p>■ ⑤ 利用者が身だしなみを整えやすいよう、鏡を配置したり、衣服や洗面具等を工夫している</p> <p><input type="checkbox"/></p> <p><input type="checkbox"/></p>	A	<p>身だしなみに関しても基本的に自立されているため、特に必要な子どもは見られないが、着替え等、行った後に不備があれば適宜に声掛けを行い、整えられるよう促している。</p> <p>着脱等の支援に関しては、必要に応じて個別に計画等に記載し、それに基づいて支援を行っている。</p>

No.	小項目	設問	自己評価	判断した理由など
30	金銭管理等	<p>事業所で通帳・印鑑や現金等を預かった場合、その管理を適切に行っていますか。</p> <p>☆<input type="checkbox"/> ① 利用者の金品を取り扱う規程を整備している</p> <p><input type="checkbox"/> ② 金品の取り扱いについて、利用者（場合によっては家族）に定期的な報告を行っている</p> <p><input type="checkbox"/> ③ 利用者の預貯金の出納は、複数の職員によって行うなど、事故が起きないようにしている</p> <p><input type="checkbox"/> ④ 金品の出し入れの記録は、個人別ごとに作成している</p> <p><input type="checkbox"/> ⑤ 金品の紛失事故等を想定し、保管庫の配置を工夫したり、保険に加入している</p> <p><input type="checkbox"/></p> <p><input type="checkbox"/></p>		該当なし。

No.	小項目	設問	自己評価	判断した理由など
31	ライフステージに応じた相談援助	<p>進学・就職・転職・転居など、利用者のライフステージに応じた相談に応じ、必要な支援を行っていますか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ■ ① 面談や電話、手紙等、利用者が相談しやすい方法で受け付け、相談を受ける時間帯についても配慮している ■ ② 相談内容は、通報義務を課せられている内容以外は、守秘義務を遵守している ■ ③ 利用者が独力で解決できない問題を抱えているときは、同行などの支援を行っている ■ ④ 相談技法や問題解決手法について、職員が知識を得る機会を設けている ■ ⑤ 相談支援した場合には、記録を作成している <p><input type="checkbox"/></p> <p><input type="checkbox"/></p>	A	<p>進学等における面接練習、バス、電車での登校練習等できる範囲で支援させていただいている。また不登校児についても本人の希望があれば一緒に学校へ同行するなどその時の状況に応じ、対応させてもらっている。</p> <p>また事業所のプログラムの中で、就労を意識したプログラムも準備し、社会的な意識を高められるように支援行なっている。</p>

(4)家族への支援

No.	小項目	設問	自己評価	判断した理由など
32	家族との信頼関係の構築	<p>家族に対し、サービス提供の意図や効果を説明し、信頼関係を構築するよう努めていますか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ■ ① 利用者本人の生活歴、既往症等の情報、本人や家族が望む生活を家族等と共有し、信頼関係を築くようにしている ■ ② 家族等からの相談に対して、相談方法を複数種類用意し、相談時間帯についても配慮している <input type="checkbox"/> ③ 家族会（保護者等会）等の組織化を働きかけ、活動を支援している ■ ④ 個別支援計画は、家族の意向や希望を踏まえた内容としている ■ ⑤ 施設利用にあたり、家族の意向や希望を把握するようにしている <p><input type="checkbox"/></p> <p><input type="checkbox"/></p>	B	<p>年に1、2回程度、行事にて他の就労継続事業所より協力をいただき、パンの販売体験会、また子どもたちの作品展示会等を行ない、保護者の方たちの集まる機会としてらしつくを開放している。子どもたちにとっては販売体験、自分の作品や日頃の事業所での自分を見てもらういい機会となっている。</p>

No.	小項目	設問	自己評価	判断した理由など
33	家族への情報提供・情報共有	<p>定期的または必要に応じて、利用者の様子を報告したり、家族から利用者の様子についての報告を受けるなどの機会を持っていますか。また、療育教育等を定期的に行っていますか。</p> <p>■ ① 家族と事業所の間で、利用者の様子を報告しあうようにしている</p> <p>■ ② 家族からの報告は、必要に応じて職員間でも共有している</p> <p>■ ③ 事業所での支援方針、疾病についての情報等を日頃から共有するようにしている</p> <p>■ ④ 家族等から求めがあった場合には、関係機関を紹介するなどの情報提供を行っている</p> <p>■ ⑤ 家族からの報告は、必要に応じて、適切に記録している</p> <p><input type="checkbox"/> ⑥ 家族への定期的な療育指導等を行っている</p> <p><input type="checkbox"/></p>	A	<p>主に送迎時に子どもたちの事業所での様子、状況をお話しさせていただき、家での近況、学校での様子なども保護者から伺うようにしている。その他、必要に応じて電話連絡等でも相談を受け付け、対応させてもらっている。</p> <p>半年に一度モニタリング時などにも事業所での子どもたちの様子については話を行なっている。</p>

(5)他機関との連携

No.	小項目	設問	自己評価	判断した理由など
34	地域内の社会資源の把握	<p>利用者支援に関係する相談機関やボランティアグループ等の情報を把握し、日々の活動に活かしていますか。</p> <p><input type="checkbox"/> ① 地域内の相談機関、ボランティアグループ等の活動内容を把握している</p> <p><input type="checkbox"/> ② 地域内の相談機関やボランティアグループ等との連携が可能な場合は、その内容について話し合っている</p> <p>■ ③ 施設で行事を行う場合には、地域の相談機関やボランティアグループ等へも案内し、参加を呼びかけている</p> <p><input type="checkbox"/> ④ 地域の相談機関やボランティアグループ等が行う行事に参加している</p> <p>■ ⑤ 地域内の社会資源の活用について、事業計画に盛り込んでいる</p> <p><input type="checkbox"/></p> <p><input type="checkbox"/></p>	C	<p>地域の清掃活動などを通して啓蒙活動を行っている。</p> <p>施設内で販売会や展示会等をするときには、相談事業所など関係機関へも必ず声かけをし、子どもの様子を見られるように働きかけている。</p>

No.	小項目	設問	自己評価	判断した理由など
35	他機関との連携・協力	<p>行政や専門機関、他の事業所等と連携し、必要に応じて協力体制を築いていますか。</p> <p><input type="checkbox"/> ① 市町村障害福祉計画の策定に参画している</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> ② 必要に応じて、専門機関や他の事業所を相談者に紹介している</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> ③ 専門機関に対して、施設で実施しているサービス内容を積極的に情報提供している</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> ④ 行政や専門機関などと連携し、ネットワークを築いている</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> ⑤ 行政や専門機関などとの連携について、事業計画に盛り込んでいる</p> <p><input type="checkbox"/></p> <p><input type="checkbox"/></p>	B	同種、各関係機関との連携を図り、子どもたちが多様かつ円滑に利用できるように支援を行っている。

3. 事業所の地域貢献

(1)地域とのつながり

No.	小項目	設問	自己評価	判断した理由など
36	地域の社会資源としての事業所	<p>事業所の持つさまざまな機能を地域に還元したり、地域とのつながりを作っていますか。</p> <p><input type="checkbox"/> ① 事業所内の集会室や庭などを、地域に住む障害者・児または住民が利用を希望した場合は、利用できるようにしている</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> ② 事業所で実施している活動の中で、参加対象を限定しないものについては、積極的に受け入れを行っている</p> <p><input type="checkbox"/> ③ 地域の求めに応じて、職員を講師として派遣している</p> <p><input type="checkbox"/> ④ 事業所で行事を行う際には、地域住民にも広く参加を呼びかけている</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> ⑤ 清掃活動に参加したり、行事を準備段階から手伝うなど、積極的に地域住民と一緒に活動する機会を設けている</p> <p><input type="checkbox"/></p> <p><input type="checkbox"/></p>	C	事業所で行なっている活動や子どもたちへの理解を深めていただけるように地域清掃活動、事業所案内を行っているが、成果に繋がっているとはいいい難い状況である。

No.	小項目	設問	自己評価	判断した理由など
37	災害時の協力	<p>災害発生時に備えて、地元関係機関との共同の取り組みを行っていますか。</p> <p><input type="checkbox"/> ① 定期的に、地元関係機関と共同で避難訓練を実施している</p> <p><input type="checkbox"/> ② 災害発生時に、地元関係機関から支援を受けたい内容、事業所からの協力内容について協議することがある</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> ③ 市町村行政が行う災害対策の方針、防災に関する情報を日頃から収集している</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> ④ 災害発生時の協力内容について、地元関係機関と定期的に見直しを行っている</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> ⑤ 地元関係機関と協働する内容は、自治体の地域防災計画を踏まえたものとなっている</p> <p><input type="checkbox"/></p> <p><input type="checkbox"/></p>	B	<p>年に2回程度、消防署からの指導の下、防災計画等を作成し、避難訓練を定期的に行って、各職員、子どもたちへの意識の向上に努めている。</p>

現在、食事支援が必要な児童はいない。

調理実習は「子ども会議」にて何を作りたいかなど意見を聞き、反映させている。その際、季節にちなんだものを提案したり、
またアレルギー等の把握は、アセスメントで聴取している。

り、季節感を感じられるように工夫を行っている。自分たちで決めたメニューでもあるため取り組む姿勢も変わってくる。また事業所での調理実習だけでなく

、地域の調理室を借り、テーブルマナーも兼ねて整った設備で昼食作りを行なった。